

一般会計等 貸借対照表

(令和03年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	98,454,210,936	固定負債	17,610,689,817
有形固定資産	94,847,879,547	地方債	17,086,112,817
事業用資産	56,263,361,279	長期未払金	-
土地	27,797,993,789	退職手当引当金	524,577,000
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	44,141,685,041	その他	-
建物減価償却累計額	△ 20,562,247,750	流動負債	2,298,581,959
工作物	3,606,181,960	1年内償還予定地方債	1,776,802,826
工作物減価償却累計額	△ 1,986,844,980	未払金	-
船舶	7,820,796	未払費用	-
船舶減価償却累計額	△ 6,312,349	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	209,047,845
航空機	-	預り金	312,731,288
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	19,909,271,776
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	3,265,084,772	【純資産の部】	
インフラ資産	37,108,606,086	固定資産等形成分	100,417,688,693
土地	8,895,502,542	余剰分(不足分)	△ 18,759,483,535
建物	541,363,145		
建物減価償却累計額	△ 270,749,432		
工作物	68,168,824,371		
工作物減価償却累計額	△ 40,376,245,429		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	149,910,889		
物品	6,385,137,384		
物品減価償却累計額	△ 4,909,225,202		
無形固定資産	54,168,541		
ソフトウェア	22,717,960		
その他	31,450,581		
投資その他の資産	3,552,162,848		
投資及び出資金	289,312,206		
有価証券	65,307,735		
出資金	224,004,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	327,494,508		
長期貸付金	13,464,600		
基金	2,934,403,780		
減債基金	-		
その他	2,934,403,780		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 12,512,246		
流動資産	3,113,265,998		
現金預金	971,996,306		
未収金	184,286,275		
短期貸付金	6,672,000		
基金	1,956,805,757		
財政調整基金	1,649,592,223		
減債基金	307,213,534		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 6,494,340		
資産合計	101,567,476,934	純資産合計	81,658,205,158
		負債及び純資産合計	101,567,476,934

【様式第2号】

一般会計等 行政コスト計算書

自 令和02年4月1日
至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	32,644,738,680
業務費用	11,014,081,903
人件費	4,000,749,776
職員給与費	3,129,200,539
賞与等引当金繰入額	209,047,845
退職手当引当金繰入額	—
その他	662,501,392
物件費等	6,629,144,206
物件費	3,557,822,126
維持補修費	147,416,429
減価償却費	2,923,905,651
その他	—
その他の業務費用	384,187,921
支払利息	133,517,001
徴収不能引当金繰入額	17,251,332
その他	233,419,588
移転費用	21,630,656,777
補助金等	12,561,186,352
社会保障給付	6,811,427,161
他会計への繰出金	2,248,788,083
その他	9,255,181
経常収益	734,426,827
使用料及び手数料	210,150,435
その他	524,276,392
純経常行政コスト	31,910,311,853
臨時損失	128,570,777
災害復旧事業費	8,967,200
資産除売却損	63,063,114
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	56,540,463
臨時利益	71,437,831
資産売却益	71,357,831
その他	80,000
純行政コスト	31,967,444,799

一般会計等 純資産変動計算書

自 令和02年4月1日

至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	
		固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	80,868,715,252	99,449,255,196	△ 18,580,539,944
純行政コスト(△)	△ 31,967,444,799		△ 31,967,444,799
財源	33,153,444,933		33,153,444,933
税収等	13,258,831,239		13,258,831,239
国県等補助金	19,894,613,694		19,894,613,694
本年度差額	1,186,000,134		1,186,000,134
固定資産等の変動(内部変動)		1,366,203,725	△ 1,366,203,725
有形固定資産等の増加		4,217,695,483	△ 4,217,695,483
有形固定資産等の減少		△ 3,102,721,450	3,102,721,450
貸付金・基金等の増加		927,105,985	△ 927,105,985
貸付金・基金等の減少		△ 675,876,293	675,876,293
資産評価差額	△ 18,387,154	△ 18,387,154	
無償所管換等	△ 380,954,074	△ 380,954,074	
その他	2,831,000	1,571,000	1,260,000
本年度純資産変動額	789,489,906	968,433,497	△ 178,943,591
本年度末純資産残高	81,658,205,158	100,417,688,693	△ 18,759,483,535

一般会計等 資金収支計算書

自 令和02年4月1日

至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	29,764,888,657
業務費用支出	8,134,231,880
人件費支出	3,998,993,626
物件費等支出	3,768,301,665
支払利息支出	133,517,001
その他の支出	233,419,588
移転費用支出	21,630,656,777
補助金等支出	12,561,186,352
社会保障給付支出	6,811,427,161
他会計への繰出支出	2,248,788,083
その他の支出	9,255,181
業務収入	21,860,180,351
税収等収入	12,914,814,148
国県等補助金収入	8,396,965,000
使用料及び手数料収入	209,123,325
その他の収入	339,277,878
臨時支出	8,967,200
災害復旧事業費支出	8,967,200
その他の支出	-
臨時収入	8,758,015,694
業務活動収支	844,340,188
【投資活動収支】	
投資活動支出	4,856,523,276
公共施設等整備費支出	4,074,596,697
基金積立金支出	777,313,579
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	4,613,000
その他の支出	-
投資活動収入	3,619,081,377
国県等補助金収入	2,739,633,000
基金取崩収入	442,423,537
貸付金元金回収収入	4,940,000
資産売却収入	107,074,840
その他の収入	325,010,000
投資活動収支	△ 1,237,441,899
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,725,834,871
地方債償還支出	1,725,834,871
その他の支出	-
財務活動収入	2,171,254,000
地方債発行収入	2,171,254,000
その他の収入	-
財務活動収支	445,419,129
本年度資金収支額	52,317,418
前年度末資金残高	606,947,600
本年度末資金残高	659,265,018
前年度末歳計外現金残高	319,048,992
本年度歳計外現金増減額	△ 6,317,704
本年度末歳計外現金残高	312,731,288
本年度末現金預金残高	971,996,306

全体貸借対照表

(令和03年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	123,258,330,639	固定負債	35,949,113,536
有形固定資産	117,173,964,695	地方債等	17,231,481,777
事業用資産	56,484,755,304	長期未払金	392,502,000
土地	27,958,239,676	退職手当引当金	581,945,793
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	44,175,913,871	その他	17,743,183,966
建物減価償却累計額	△ 20,571,216,155	流動負債	3,150,281,838
工作物	3,648,618,038	1年内償還予定地方債等	1,814,024,847
工作物減価償却累計額	△ 1,993,393,345	未払金	322,448,918
船舶	7,820,796	未払費用	-
船舶減価償却累計額	△ 6,312,349	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	233,797,022
航空機	-	預り金	349,947,097
航空機減価償却累計額	-	その他	430,063,954
その他	-	負債合計	39,099,395,374
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	3,265,084,772	【純資産の部】	
インフラ資産	57,552,793,896	固定資産等形成分	125,221,808,396
土地	10,300,661,671	余剰分(不足分)	△ 35,554,687,448
建物	1,626,038,254	他団体出資等分	-
建物減価償却累計額	△ 510,940,624		
工作物	91,950,451,590		
工作物減価償却累計額	△ 46,505,528,760		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	692,111,765		
物品	9,723,705,806		
物品減価償却累計額	△ 6,587,290,311		
無形固定資産	59,907,818		
ソフトウェア	28,188,537		
その他	31,719,281		
投資その他の資産	6,024,458,126		
投資及び出資金	289,543,206		
有価証券	65,307,735		
出資金	224,235,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	570,184,378		
長期貸付金	1,519,861,800		
基金	3,671,516,874		
減債基金	-		
その他	3,671,516,874		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 26,648,132		
流動資産	5,508,185,683		
現金預金	2,803,043,662		
未収金	484,626,910		
短期貸付金	6,672,000		
基金	1,956,805,757		
財政調整基金	1,649,592,223		
減債基金	307,213,534		
棚卸資産	9,313,207		
その他	261,471,476		
徴収不能引当金	△ 13,747,329		
繰延資産	-		
資産合計	128,766,516,322	純資産合計	89,667,120,948
		負債及び純資産合計	128,766,516,322

全体行政コスト計算書

自 令和02年4月1日

至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	45,604,260,795
業務費用	14,094,218,904
人件費	4,456,225,441
職員給与費	3,414,122,474
賞与等引当金繰入額	233,705,022
退職手当引当金繰入額	—
その他	808,397,945
物件費等	8,967,076,654
物件費	4,822,470,324
維持補修費	174,975,041
減価償却費	3,905,845,559
その他	63,785,730
その他の業務費用	670,916,809
支払利息	216,022,225
徴収不能引当金繰入額	50,876,428
その他	404,018,156
移転費用	31,510,041,891
補助金等	24,685,349,381
社会保障給付	6,814,245,741
その他	10,446,769
経常収益	2,409,668,247
使用料及び手数料	1,823,951,485
その他	585,716,762
純経常行政コスト	43,194,592,548
臨時損失	139,419,377
災害復旧事業費	8,967,200
資産除売却損	73,320,872
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	57,131,305
臨時利益	85,926,343
資産売却益	71,357,831
その他	14,568,512
純行政コスト	43,248,085,582

全体純資産変動計算書

自 令和02年4月1日

至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	88,633,871,774	124,033,730,133	△ 35,399,858,359	—
純行政コスト(△)	△ 43,248,085,582		△ 43,248,085,582	
財源	44,613,987,122		44,613,987,122	—
収等	17,004,512,442		17,004,512,442	
国県等補助金	27,609,474,680		27,609,474,680	
本年度差額	1,365,901,540		1,365,901,540	—
固定資産等の変動(内部変動)		1,601,253,073	△ 1,601,253,073	
有形固定資産等の増加		5,312,411,220	△ 5,312,411,220	
有形固定資産等の減少		△ 4,094,919,116	4,094,919,116	
貸付金・基金等の増加		1,316,808,002	△ 1,316,808,002	
貸付金・基金等の減少		△ 933,047,033	933,047,033	
資産評価差額	59,360,033	59,360,033		
無償所管換等	△ 396,358,656	△ 396,358,656		
他団体出資等分の増加	—			—
他団体出資等分の減少	—			—
その他	4,346,257	△ 76,176,187	80,522,444	
本年度純資産変動額	1,033,249,174	1,188,078,263	△ 154,829,089	—
本年度末純資産残高	89,667,120,948	125,221,808,396	△ 35,554,687,448	—

全体資金収支計算書

自 令和02年4月1日

至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	41,758,667,826
業務費用支出	10,248,625,935
人件費支出	4,454,562,386
物件費等支出	5,156,912,773
支払利息支出	216,022,225
その他の支出	421,128,551
移転費用支出	31,510,041,891
補助金等支出	24,685,349,381
社会保障給付支出	6,814,245,741
その他の支出	10,446,769
業務収入	34,421,642,403
税収等収入	16,115,078,933
国県等補助金収入	16,111,825,986
使用料及び手数料収入	1,696,417,198
その他の収入	498,320,286
臨時支出	9,558,042
災害復旧事業費支出	8,967,200
その他の支出	590,842
臨時収入	8,759,188,744
業務活動収支	1,412,605,279
【投資活動収支】	
投資活動支出	6,287,195,992
公共施設等整備費支出	5,229,386,288
基金積立金支出	1,052,766,704
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	5,043,000
その他の支出	-
投資活動収入	4,549,458,547
国県等補助金収入	3,426,903,019
基金取崩収入	499,646,537
貸付金元金回収収入	5,255,600
資産売却収入	107,074,840
その他の収入	510,578,551
投資活動収支	△ 1,737,737,445
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,178,106,708
地方債等償還支出	1,763,556,214
その他の支出	414,550,494
財務活動収入	2,668,954,000
地方債等発行収入	2,668,954,000
その他の収入	-
財務活動収支	490,847,292
本年度資金収支額	165,715,126
前年度末資金残高	2,324,597,248
本年度末資金残高	2,490,312,374
前年度末歳計外現金残高	319,048,992
本年度歳計外現金増減額	△ 6,317,704
本年度末歳計外現金残高	312,731,288
本年度末現金預金残高	2,803,043,662

連結貸借対照表

(令和03年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	131,583,202,206	固定負債	38,694,905,921
有形固定資産	120,014,635,739	地方債等	17,940,885,912
事業用資産	59,313,660,416	長期未払金	397,329,958
土地	28,387,640,501	退職手当引当金	2,608,599,472
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	54,659,570,067	その他	17,748,090,579
建物減価償却累計額	△ 28,881,648,100	流動負債	3,324,586,822
工作物	3,866,687,734	1年内償還予定地方債等	1,947,724,277
工作物減価償却累計額	△ 2,063,713,686	未払金	339,294,363
船舶	7,820,796	未払費用	10,429,371
船舶減価償却累計額	△ 6,312,349	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	241,762,457
航空機	-	預り金	352,642,034
航空機減価償却累計額	-	その他	432,734,320
その他	38,509,861	負債合計	42,019,492,743
その他減価償却累計額	△ 4,159,065	【純資産の部】	
建設仮勘定	3,309,264,657	固定資産等形成分	133,638,708,405
インフラ資産	57,552,793,896	余剰分(不足分)	△ 37,421,205,488
土地	10,300,661,671	他団体出資等分	1,000,000
建物	1,626,038,254		
建物減価償却累計額	△ 510,940,624		
工作物	91,950,451,590		
工作物減価償却累計額	△ 46,505,528,760		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	692,111,765		
物品	9,789,804,675		
物品減価償却累計額	△ 6,641,623,248		
無形固定資産	220,217,359		
ソフトウェア	36,746,574		
その他	183,470,785		
投資その他の資産	11,348,349,108		
投資及び出資金	214,019,778		
有価証券	65,322,307		
出資金	148,697,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	572,286,525		
長期貸付金	1,520,282,993		
基金	6,057,411,986		
減債基金	-		
その他	6,057,411,986		
その他	3,011,012,470		
徴収不能引当金	△ 26,664,644		
流動資産	6,654,793,454		
現金預金	3,653,983,141		
未収金	492,716,963		
短期貸付金	6,672,000		
基金	2,048,834,199		
財政調整基金	1,741,620,665		
減債基金	307,213,534		
棚卸資産	204,877,407		
その他	261,471,476		
徴収不能引当金	△ 13,761,732		
繰延資産	-		
資産合計	138,237,995,660	純資産合計	96,218,502,917
		負債及び純資産合計	138,237,995,660

連結行政コスト計算書

自 令和02年4月1日
至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	50,271,688,984
業務費用	15,565,056,802
人件費	5,053,546,652
職員給与費	3,846,237,283
賞与等引当金繰入額	238,466,440
退職手当引当金繰入額	121,373,979
その他	847,468,950
物件費等	9,723,038,124
物件費	5,227,667,703
維持補修費	323,825,719
減価償却費	4,100,073,601
その他	71,471,101
その他の業務費用	788,472,026
支払利息	220,242,666
徴収不能引当金繰入額	50,907,343
その他	517,322,017
移転費用	34,706,632,182
補助金等	27,876,489,263
社会保障給付	6,814,328,233
その他	15,814,686
経常収益	2,621,432,187
使用料及び手数料	1,936,404,807
その他	685,027,380
純経常行政コスト	47,650,256,797
臨時損失	146,751,912
災害復旧事業費	8,967,200
資産除売却損	74,603,407
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	63,181,305
臨時利益	85,926,343
資産売却益	71,357,831
その他	14,568,512
純行政コスト	47,711,082,366

連結純資産変動計算書

自 令和02年4月1日
至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	95,128,056,827	131,152,490,443	△ 36,025,433,616	1,000,000
純行政コスト(△)	△ 47,711,082,366		△ 47,711,082,366	
財源	49,087,183,377		49,087,183,377	-
税金等	19,277,229,757		19,277,229,757	
国県等補助金	29,809,953,620		29,809,953,620	
本年度差額	1,376,101,011		1,376,101,011	-
固定資産等の変動(内部変動)		1,591,754,980	△ 1,591,754,980	
有形固定資産等の増加		5,367,904,591	△ 5,367,904,591	
有形固定資産等の減少		△ 4,278,176,733	4,278,176,733	
貸付金・基金等の増加		1,550,312,804	△ 1,550,312,804	
貸付金・基金等の減少		△ 1,048,285,682	1,048,285,682	
資産評価差額	59,360,033	59,360,033		
無償所管換等	△ 396,358,656	△ 396,358,656		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	47,492,819	△ 86,122,124	133,614,943	-
その他	3,850,883	1,317,583,729	△ 1,313,732,846	
本年度純資産変動額	1,090,446,090	2,486,217,962	△ 1,395,771,872	-
本年度末純資産残高	96,218,502,917	133,638,708,405	△ 37,421,205,488	1,000,000

連結資金収支計算書

自 令和02年4月1日

至 令和03年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	46,164,877,702
業務費用支出	11,458,245,520
人件費支出	4,928,846,142
物件費等支出	5,731,825,762
支払利息支出	220,242,666
その他の支出	577,330,950
移転費用支出	34,706,632,182
補助金等支出	27,880,997,404
社会保障給付支出	6,814,328,233
その他の支出	11,306,545
業務収入	39,043,032,353
税収等収入	18,369,350,259
国県等補助金収入	18,213,814,271
使用料及び手数料収入	1,808,872,857
その他の収入	650,994,966
臨時支出	15,608,042
災害復旧事業費支出	8,967,200
その他の支出	6,640,842
臨時収入	8,759,188,744
業務活動収支	1,621,735,353
【投資活動収支】	
投資活動支出	8,038,800,174
公共施設等整備費支出	5,281,581,641
基金積立金支出	1,289,427,838
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	5,043,000
その他の支出	1,462,747,695
投資活動収入	4,700,915,640
国県等補助金収入	3,460,773,528
基金取崩収入	613,839,265
貸付金元金回収収入	5,255,600
資産売却収入	107,074,840
その他の収入	513,972,407
投資活動収支	△ 3,337,884,534
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,285,748,206
地方債等償還支出	1,866,467,237
その他の支出	419,280,969
財務活動収入	2,734,002,901
地方債等発行収入	2,706,518,282
その他の収入	27,484,619
財務活動収支	448,254,695
本年度資金収支額	△ 1,267,894,486
前年度末資金残高	4,595,449,094
比例連結割合変更に伴う差額	13,018,066
本年度末資金残高	3,340,572,674
前年度末歳計外現金残高	319,555,509
本年度歳計外現金増減額	△ 6,145,042
本年度末歳計外現金残高	313,410,467
本年度末現金預金残高	3,653,983,141

一般会計等財務書類 注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

なし

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

一般会計等財務書類 注記

- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
なし

（５）引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

なし

② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

③退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

④損失補償等引当金

なし

⑤賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

（６）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

（７）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

（８）その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 出納整理期間

当会計年度に係る出納整理期間（令和3年4月1日～5月31日）の現金出納に関する取引を当会計年度の取引に含めています。

② 消費税及び地方消費税の会計処理

税込方式によっています。

一般会計等財務書類 注記

③ 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。ソフトウェアについても、原則として物品の取扱いに準じています。

④ 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として金額が60万円未満であるときに、修繕費として処理しています。ただし、実施した工事の性質により、原状回復と判断された工事については金額によらず修繕費として処理しています。

2. 重要な会計方針の変更等

（1）会計方針の変更

なし

（2）表示方法の変更

なし

（3）資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3. 重要な後発事象

（1）主要な業務の改廃

なし

（2）組織・機構の大幅な変更

なし

（3）地方財政制度の大幅な改正

なし

（4）重大な災害等の発生

なし

4. 偶発債務

（1）保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

（2）係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

（3）その他主要な偶発債務

なし

5. 追加情報

一般会計等財務書類 注記

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

①一般会計等財務書類の対象範囲は次の通りです。

一般会計

人材育成事業特別会計

②地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

④地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の状況

実質赤字比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ △ 3.8 %

連結実質赤字比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ △ 16.6 %

実質公債費比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8.1 %

将来負担比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25.9 %

⑤過年度修正等に関する事項

なし

(2) 貸借対照表に係る事項

①売却可能資産の範囲及び内訳

ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ 内訳

事業用資産	0千円 (0千円)
インフラ資産	0千円 (0千円)
物品	0千円 (0千円)

令和3年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

②地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく将来負担比率の算定要素

標準財政規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12,813,115 千円

元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額・・・・ 1,334,104 千円

将来負担額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22,750,587 千円

充当可能基金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,888,376 千円

特定財源見込額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 997,807 千円

地方債現在高等に係る基準財政需要額算入額・・・・・・・・・・ 13,880,875 千円

(3) 行政コスト計算書に係る事項

なし

(4) 純資産変動計算書に係る事項

①固定資産形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

②余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(5) 資金収支計算書に係る事項

①基礎的財政収支

75,305 千円

②既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	36,544,758千円	35,900,837千円
財務書類の対象となる会計の範囲に伴う差額	20,721千円	5,377千円
繰越金のうち前年度歳入歳出差引額に伴う差額	△606,948千円	0千円
繰越金のうち歳計剰余金処分による基金積立に伴う差額	450,000千円	450,000千円
翌年度繰上げ充用金に伴う差額	0千円	0千円
相殺消去に伴う差額	0千円	0千円
資金収支計算書	36,408,531千円	36,356,214千円

地方自治法第233条第1項に基づく歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象としているため、歳入歳出決算書と資金収支計算書は一部の特別会計の分だけ相違します。

歳入歳出決算書では繰越金を収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

③資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

業務活動収支	844,340千円
投資活動収入の国県等補助金収入	2,739,633千円
未収債権、未払債務等の増加（減少）	743,937千円
減価償却費	△2,923,906千円
賞与等引当金繰入額	△209,048千円
退職手当引当金繰入額	0千円
徴収不能引当金繰入額	△17,251千円
資産除売却益（損）	8,295千円
純資産変動計算書の本年度差額	1,186,000千円

④重要な非資金取引

なし

全体財務書類 注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

連結対象団体が採用する会計基準による

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

全体財務書類 注記

② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（５年）に基づく定額法によっています。）

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が１年以内のリース取引及びリース契約１件あたりのリース料総額が３００万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

（５）引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

なし

② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去５年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

③退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

④損失補償等引当金

なし

⑤賞与等引当金

翌年度の６月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

（６）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、１件当たりの契約額が３００万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

（７）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

（８）消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

全体財務書類 注記

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

2. 重要な会計方針の変更等

(1) 会計方針の変更

なし

(2) 表示方法の変更

なし

(3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

なし

(2) 組織・機構の大幅な変更

なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

(4) 重大な災害等の発生

なし

4. 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

(3) その他主要な偶発債務

なし

5. 追加情報

(1) 全体財務書類の対象範囲

全体財務書類の対象範囲については、一般会計等財務書類の対象範囲に下記会計を含みます。

団体名	連結方法
水道事業会計	全部連結
下水道事業会計	全部連結
糸満漁港ふれあい公園事業特別会計	全部連結
土地区画整理事業特別会計	全部連結
国民健康保険事業特別会計	全部連結

全体財務書類 注記

介護保険事業特別会計	全部連結
後期高齢者医療特別会計	全部連結

(2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

(4) 売却可能資産の範囲及び内訳

ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ 内訳

事業用資産	0千円 (0千円)
インフラ資産	0千円 (0千円)
物品	0千円 (0千円)

令和3年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

連結財務書類 注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

② 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・再調達原価

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・取得原価

② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく

低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が

30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 原材料、商品等・・・連結対象団体が採用する会計基準による

② 販売用土地・・・地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項各号に掲げる方法

(4) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

連結財務書類 注記

② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（５年）に基づく定額法によっています。）

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が１年以内のリース取引及びリース契約１件あたりのリース料総額が３００万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

（５）引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去５年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

② 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

③ 損失補償等引当金

なし

④ 賞与等引当金

翌年度の６月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

（６）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、１件当たりの契約額が３００万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

（７）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（容易に換金可能であり、かつ、価値変動が僅少なもので、流動性の高い投資をいいます。ただし、一般会計等においては、糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

（８）消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

２．重要な会計方針の変更等

（１）会計方針の変更

連結財務書類 注記

なし

(2) 表示方法の変更

なし

(3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

3. 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

なし

(2) 組織・機構の大幅な変更

なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

(4) 重大な災害等の発生

なし

4. 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

(3) その他主要な偶発債務

なし

5. 追加情報

(1) 連結財務書類の対象範囲

連結財務書類の対象範囲については、全体財務書類の対象範囲に下記の団体（会計）を含みます。

団体名	連結方法
南部広域市町村圏事務組合（一般会計）	比例連結
南部広域市町村圏事務組合（南斎場）	比例連結
沖縄県後期高齢者医療広域連合	比例連結
沖縄県市町村総合事務組合	比例連結
沖縄県自治会館管理組合	比例連結
南部広域行政組合	比例連結
糸満市土地開発公社	全部連結
糸満市社会福祉協議会	全部連結

連結の方法は次のとおりです。

連結財務書類 注記

- ①一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結対象としています。
- ②地方三公社は、全て全部連結の対象としています
- ③第三セクター等は、出資割合が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体は含みます。）は、全部連結の対象としています。

（２）出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

（３）表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

（４）売却可能資産の範囲及び内訳

ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ 内訳

事業用資産	0千円（ 0千円）
インフラ資産	0千円（ 0千円）
物品	0千円（ 0千円）

令和3年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。